

問1 江戸時代、幕府が唯一の対外窓口として、外国船の入港や貿易を管理させた港町を何という？

1. 平戸 2. 博多 3. 長崎 4. 堺

問2 囲米制度などが実施された背景として、幕府が農村での生産を推奨するために制限しようとした作物は？

1. 自給作物 2. 輸出作物 3. 年貢米 4. 商品作物

問3 江戸時代、朝鮮との外交や貿易の窓口を担った藩はどこ？

1. 対馬 2. 薩摩 3. 長崎 4. 松前

問4 貨幣経済が浸透した江戸時代、農村などで発達した、農業以外の生産活動を何という？

1. 農業 2. 手工業 3. 漁業 4. 林業

問5 江戸幕府の役職で、将軍の補佐役を務め、幕政の最高責任者となる最高位の職を何という？

1. 大老 2. 若年寄 3. 寺社奉行 4. 老中

問6 儒教の一派であり、主従関係や上下の秩序を重んじる教えで、江戸幕府が政治や道徳の指針として奨励したものを何という？

1. 陽明学 2. 朱子学 3. 古学 4. 国学

問7 江戸時代、全国の物資が集まり、商業や流通の中心地となった大坂のことを何という？

1. 将軍のお膝元 2. 水の都 3. 学問の府 4. 天下の台所

問8 ロシアの通商要求が高まる中、幕府が鎖国体制を維持するために派遣されたロシア使節は誰？

1. ペリー 2. ゴローニン 3. ラクスマン 4. レザノフ

問9 江戸幕府が社会の安定を目的として、学問として公認し奨励した、五代将軍によって広められた思想を何という？

1. 古学 2. 国学 3. 朱子学 4. 陽明学

問10 陽明学者・大塩平八郎が、飢えに苦しむ人々を救うために反乱を起こした年はいつ？

1. 1833 2. 1843 3. 1841 4. 1837

問11 江戸時代に、経済力をつけた町人が中心となって発展した文化が栄えた地域として、江戸とともに代表的な場所を何という？

1. 九州 2. 上方 3. 奥羽 4. 江戸

問12 1840年、清がイギリスと戦い、その敗戦が日本の外交政策にも大きな転換を迫るきっかけとなった戦争を何といいますか？

1. アヘン戦争 2. 日露戦争 3. 日清戦争 4. アロー戦争

問13 江戸時代に、庶民の生活や風景を題材として描かれた絵画のことを何という？

1. 水墨画 2. 屏風絵 3. 障壁画 4. 浮世絵

問14 18世紀末から19世紀にかけて、日本近海にたびたび現れて江戸幕府に警戒された国のうち、ロシア以外の国はどこ？

1. イギリス 2. ロシア 3. オランダ 4. アメリカ

問15 江戸時代後半、松平定信が行った政治改革を何という？

1. 明治維新 2. 寛政の改革 3. 天保の改革 4. 享保の改革

問16 アヘン戦争での清の敗北を受け、日本が西洋に対抗するために推進した、薩摩藩なども取り組んだ対策を何という？

1. 富国強兵 2. 廃藩置県 3. 軍勢力強化 4. 尊皇攘夷

答え合わせ・解説

問1	答え 3 長崎	長崎は幕府の直接の管理下に置かれ、長崎奉行が置かれました。ここにはオランダ商館や中国船の貿易拠点が設置され、海外からの物品や情報がすべてここを経由して全国へ運ばれました。
問2	答え 4 商品作物	これらの作物は「商品作物」と呼ばれ、農民の収入を増やしました。しかし、幕府は商品作物の栽培が拡大すると、主食である米の生産が減り、食糧不足や農村の疲弊につながることを懸念しました。そのため、寛政の改革などでは、商品作物の栽培を制限し、米の生産を優先させる方針がとられました。
問3	答え 1 対馬	対馬藩（現在の長崎県対馬市）は、その地理的な近さから、朝鮮との外交交渉を幕府から任されました。朝鮮から送られる使節（朝鮮通信使）の受け入れ準備から、貿易の管理までを一手に担いました。この関係を通じて、日本と朝鮮は友好的な貿易と文化的交流を維持しました。
問4	答え 2 手工業	この変化の中で、農業の合間に原料を加工して製品にする手工業が各地で発達しました。具体的には木綿織り、絹織物、酒造、醤油作りなどが挙げられます。農村における副業的な位置づけから始まり、次第に専門的な経営へと成長していくケースも多く見られました。
問5	答え 1 大老	「大老」は、幕政において臨時に設置される最高責任者です。老中などの常設の役職の上に位置し、幕府の重大な決断や緊急時の対応を担いました。井伊直弼のように、開国という大きな転換点において歴史的な判断を下したことで知られています。
問6	答え 2 朱子学	朱子学は、君臣や親子の間にある厳しい上下関係を自然の理法とみなし、社会秩序を正すことを重視しました。幕府はこの思想を高く評価し、武士の教養や政治の基本理念として奨励しました。
問7	答え 4 天下の台所	諸藩が大坂に米などを販売する拠点を置いたため、大坂は全国の経済の中心地となり「天下の台所」と呼ばれました。米の価格はここで決まり、金融や証券取引も発達しました。
問8	答え 3 ラクスマン	1792年、ロシアの使節ラクスマンが根室に来航し、漂流民の護送を口実に通商を要求しました。幕府は鎖国政策を維持するため、これを拒否し、外交交渉の窓口は長崎のみであると伝えて帰国させました。
問9	答え 3 朱子学	五代将軍徳川綱吉が特に好んだことで、武士の教養として欠かせないものとなりました。幕府は昌平坂学問所を整備し、ここを拠点に朱子学を教授しました。主従関係や家族の礼儀を説く内容は、幕藩体制を正当化する思想として都合が良かったのです。
問10	答え 4 1837	1837年、元役人の大塩平八郎は、私財をなげうって貧民を救おうとしましたが限界を感じ、ついに大坂で武装蜂起しました。この事件は「大塩平八郎の乱」と呼ばれ、現役の幕府役人が組織した反乱として世間に大きな衝撃を与えました。
問11	答え 2 上方	この経済的な余裕を背景に、上方では新しい芸術や芸能が発達しました。大坂の商人の文化や京都の洗練された文化が混ざり合い、町人が自ら発信源となる「町人文化」が形成されたのです。
問12	答え 1 アヘン戦争	清政府がアヘンの取り締まりを強化したことに対し、イギリスは武力を行使しました。近代的な兵器を持つイギリス軍に対し、清は圧倒的に敗北し、不平等な条約を結ぶこととなりました。
問13	答え 4 浮世絵	浮世絵は、当時の流行や美人画、風景などを描いた木版画です。最初はモノクロでしたが、後に多色刷りの「錦絵」が作られ、安価で手軽に買える娯楽として爆発的な人気を博しました。有名な絵師には葛飾北斎や歌川広重などがいます。
問14	答え 1 イギリス	19世紀に入るとアジア方面での貿易拡大を目指し、日本近海にも盛んに姿を見せるようになりました。ロシアやアメリカなどの外国船と同様に、通商を求めて幕府に開国を迫る動きを見せました。
問15	答え 2 寛政の改革	老中となった松平定信は、倹約令を出して支出を抑えるとともに、都市へ流出した農民を強制的に帰郷させる「人返しの法」を施行しました。また、朱子学以外の学問を制限する寛政異学の禁なども行い、幕府の権威を回復しようとした。
問16	答え 3 軍事力強化	特に薩摩藩などは西洋の軍事技術を積極的に取り入れ、鉄製の大砲を鑄造するための「反射炉」を建設しました。これは日本の近代化のさきがけであり、幕府や各藩がこぞって西洋式の砲術や造船技術の習得に励んだのです。